

課題名：県南を対象とした低コスト・多収水稻品種の育成（平27～）

内容：県南部の水稻主力品種「アケボノ」は、業務用米として実需者から高い評価を得ています。しかし、病虫害抵抗性を持っていないため、病虫害が激発した際には大きく減収する恐れがあり、安定生産を続ける上でリスクをはらんでいます。そこで、「アケボノ」に、いもち病、縞葉枯病、トビイロウンカに対する抵抗性を付与する品種育成を行っています。



DNA マーカー選抜



戻し交配



圃場に展開しての選抜

[作物・経営研究室 HP へ](#)
[農業研究所HPへ](#)